

日本医労連 2003年度NO.13 2004.5.12

# 青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX: 03 - 3875 - 6270 email: n-ootani@irouren.or.jp

\*このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送ります。青年の会議で配るなど、多くの青年に渡るようご協力ください！

## 青年学習交流集会への申込みは現在60名弱

今月末に熱海にて開催の青年学習交流集会への申込書や、「行きます！」とのメールが連日届いています。現在のところ北海道から鹿児島まで60名弱の申込みをいただいています。締切は22日(金)ですが、早めにもらえると嬉しいです！よろしくお願ひします。

集会2日目には分科会を予定しています。分科会は、「賃金について知ろう」、「権利について知ろう」、「青年部の活性化」の3本。

の分科会では、グループに分かれて職場の身近な問題から自分たちの権利・労働条件を考えよものにしよう準備中。気軽に参加してね。

の分科会ではまず特別報告をうけて討論の糸口にし、悩み・取組み交流をおこなう予定です。労組の大切さ、青年部の意義・目的、魅力をみんなで考えたいと思っています。

限られた時間ですが、みんなで協力して実りある集会にしましょう！熱海で待ってま～す



## 財活もがんばる！岡山青年部が恒例のフリマ

予算のない岡山県医労連(貧乏)青年部は、フリーマーケットで頑張りました！何ヶ月もかけて日用雑貨を集め、食器からタオル、その他いろいろ…多額にはならないけどブロックアクトや全国アクトのために燃えました！

早朝5時に集合し、6時から売り子に。準夜明けのメンバーもいて、眠い目をこすりながら、値切るお客とたたかいながら…これからも岡山県医労連青年部は、銭儲けに奮闘します！！

(岡山県医労連青年部部长・濱村裕子さん、全医労長島支部 日本医労連青年委員)



## 二本松労組・山形医労組青年部が春闘学習会を開催

04 春闘に向け、二本松会労組と山形地区医療労組で、青年部の春闘学習会を開催しました。二本松会労組は昨年に続き 2 回目、山形医労組では青年部主催での開催は 25 年ぶりでした。

二本松会労組では 2/20 (金)、県医労連の加藤聡書記と二本松会労組の児玉委員長を講師に、20 数名が学習を深めました。加藤氏からは山形県医労連の主な歴史と取組み、青年層に期待することをわかりやすく話されました。児玉氏からは二本松会労組の歴史と、実際に組合員からみた取組みや心境、そして今春闘の情勢を説明されました。

山形医労組では 3/8 (月)、松木書記長から組合についてわからないことなどの「事前アンケート」に基づいて講演があり、30 数名が学びました。

両学習会とも参加者たちからは「育児休業規定や介護休業規定などについて理解を深めることができてよかった」「04 春闘の情勢について学び、全員が一丸となり組合に団結すれば、自分たちの要求を勝ち取れることを学んだ」など、前向きな声が聞かれ好評でした。学習後は交流会を行って交流を深めました。  
(山形県医労連青年委員会ニュース『voice』より)



## 全労連青年部 6・22「賃下げ悪循環阻止、04 最賃・人勧中央行動」

全労連青年部では、昨年秋から若者に雇用と働くルールを求める取組みを強化しており、日本医労連青年協としてもそれを受けて署名などを取組んできました。

夏には最低賃金の目安回答や、人事院勧告の基準となる「標準生計費」の算定作業(生活保護や年金給付額・来年の最低賃金目安に直接・間接的に強い影響力を持つ)が政府段階で行われます。これらは、正規・非正規・失業者を問わず、私たち青年の最低限の生活に密接に関わります。

全労連青年部は、国の方策に青年の声を反映させるために、来月中央行動を予定します。都道府県労連に結集して、積極的にご参加ください。

### 6・22「賃下げ悪循環阻止、04 最賃・人勧中央行動」

#### - 厚労省前 怒りのハnst座り込み行動 -

日にち：2004 年 6 月 22 日(火)

参加対象：最賃体験を実施した地方組織・単産青年部などが、その教訓を持ち寄り、厚生労働省に対して最賃引き上げの切実性を強く求める。全労連全体をあげての中央行動だが、青年部は 50 名規模でのぞむ。

行動内容：厚生労働省・人事院前の要求行動、厚生労働省交渉

\* 不明な点は各都道府県労連までお問合せください

## お知らせ

平和の掲示板をリニューアルしました。平和行動へした参加感想や、平和の取組み報告など、どしどし書き込んでね。

平和の掲示板：<http://www.irouren.or.jp/heiwa/>